

第6学年 外国語科学習指導案

日 時：平成30年11月28日

場 所：6年2組教室

学 級：6年2組 40名

1 単元名

「Unit 8 What do you want to be?」

2 児童観

本学級の児童は、男子20名、女子20名の計40名である。5年生の時からペアトークやグループワークなどを通して学び合うスタイルの授業に慣れており、外国語以外の授業でも男女関係なく共に学び合う姿がよく見られる。

☆外国語科アンケート（11月調査）の結果より

各設問の肯定的意見（あてはまる・少しあてはまる）の割合

設問	クラス	学年
1. 英語の時間・活動は好き	83%	71%
2. 英語を話せるようになりたい	95%	88%
3. 英語の時間・活動で話すことは好き	75%	67%
4. 英語の時間・活動でならった英語をはなすことができる	71%	68%
11. 英語の時間・活動で、先生や友達と会話することは楽しい	83%	76%

「英語の時間・活動が好き」と回答する児童が多く、前向きな傾向が見られる。その要因として、「英語の時間・活動で、先生や友達と会話することは楽しい」と感じている児童が多いことが挙げられる。5年生の時より会話や会話をしなければならないゲームに取り組むことを中心とした外国語の授業を展開してきたからだと考える。

一方、「英語の時間・活動で話すことは好き」と回答する児童がほかの設問と比べ、10%程度低い。これは、「英語の時間・活動でならった英語をはなすことができる」ことの結果と関連していると考えられる。本学年の児童全体の特徴として、自信がもてないと自分から行動することができなかつたり、声が小さくなつたりする。そのため、挑戦することが多い外国語の授業ではこの結果は妥当と考えられる。また、「英語を話せるようになりたい」と感じている児童が全設問の中で1番多い。これらの結果から、児童が自信をもってコミュニケーションを図れるような手立てが必要だと考える。

手立てとして、1時間の授業中にたくさん発音したり、繰り返し既習事項を授業の中で活用したりすることで、児童は自信をもってコミュニケーションを図ることができ、アンケートの結果を改善できると考える。「英語の時間・活動で、先生や友達と会話することは楽しい」と感じている児童は他の設問と比べて多いので、その気持ちを大切にしたい。

3 研究主題にせまるために

研究主題「対話を通して、主体的に学習する子供を育てる」にせまるために、高学年では、次のように工夫をした。

①「1単位時間の授業の流れ」を毎時間ほぼ同じようにする

児童が学習の見通しをもち、安心して学習に取り組むことができるよう、「挨拶→チャンツ・会話練習→復習→本時のめあて→新出単語・表現→アクティビティ→振り返り」と1時間の授業の流れを同じようにした。そのことで、児童がより主体的に学習に取り組むことができると考えた。

②学習内容を精選し活動をスモールステップにする

一度に多くの新出単語や表現を取り上げると、多くの児童が混乱し、学習意欲も停滞してしまう傾向がある。そのため、一度に扱う単語や表現を5～6種類に絞り込み、少しずつ扱う表現を積み上げていくことで、表現に慣れ、自信をもってコミュニケーション活動を行うことができると考えた。

③指示や説明を分かりやすく、簡潔にする

児童が十分に学習活動に取り組むことができるようにするためには、教師の指示を分かりやすく、なおかつ簡潔にする必要があると考えた。

4 単元の指導目標

- ・どのような職業に就きたいかを尋ねたり、答えたりする。(知識及び技能)
- ・世界には様々な夢を持つ同世代の子供がいることを知り、英語と日本語での職業を表す語の成り立ちを通して、言葉の面白さに気付く。(思考力、判断力、表現力)
- ・積極的に自分の将来の夢について交流しようとする。(学びに向かう力、人間性等)

5 言語材料

(1) 表現(児童の発話)

- ・ When is your birthday? / My birthday is ~.
- ・ What food do you like? / I like ~.
- ・ What do you want? / I want ~.
- ・ What can you do? / I can ~.
- ・ What do you want to be? / I want to be a ~.

(2) 語彙(児童が使う語彙)

- ・ 職業

6 該当する新学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
読むこと	ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。 イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味がわかるようにする。
話すこと (やり取り)	ウ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や、基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。

7 単元の評価規準

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう人間性等
基本的な単語や表現を覚え、具体的な情報を聞き取ったり話したりしている。	コミュニケーションを行う目的や状況を理解し、自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。	目的をもって主体的に英語を話し、友達の考えを聞き取ったり自分の考えを伝えたりしている。

8 前回の改善策を受けて

(1) 児童が発表する時間を設定する

本時は4時間扱いの最後の授業となる。児童にとってのまとめの活動として、今まで習ったことを使って発表する時間を取り入れる。教師にとっても児童を評価する機会とする。

(2) 教師の説明を簡潔にする

単語で指示する、身振り手振りを入れるといったことを意識し、教師の言葉を少なくしていく。

(3) 活動に必然性をもたせる

友達のことを知る活動を取り入れることで、「友達のことを知りたい」という思いをもたせ、児童の意欲を高める。

9 単元指導計画（4時間）

時	目標（◆）と主な活動（【 】、○）	◎評価〈方法〉
1	◆就きたい職業について、尋ねたり答えたりする表現を知る。 【あいさつ】【ウォームアップ】 ○単語復習（スポーツ） ○会話練習（What can you do? / I can～.） 【めあて】【新出表現】 ○新出単語（職業） ○新出ダイアログ（What do you want to be? / I want to be a ～.） 【アクティビティ】 ○「ビンゴゲーム」 ○「選択型ゲーム」 【振り返り】【あいさつ】	◎就きたい職業について、尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりしている。 〈行動観察、リフレクションカード分析〉
2	◆就きたい職業について、尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 【あいさつ】【ウォームアップ】 ○単語復習（月） ○会話練習（What fruit do you like? / I like～.） 【めあて】【新出表現】 ○新出単語（職業） ○新出ダイアログ（What do you want to be? / I want to be a ～.） 【アクティビティ】 ○「チェンゲーム」 ○「インタビューゲーム」 【振り返り】【あいさつ】	◎就きたい職業について、尋ねたり答えたりしている。 〈行動観察・リフレクションカード分析〉
3	◆就きたい職業について、尋ねたり答えたりする表現を円滑に使うことができる。 【あいさつ】【ウォームアップ】 ○単語復習（月） ○会話練習（When is your birthday? / My birthday is ～.） 【めあて】【新出表現】 ○新出単語（職業） ○新出ダイアログ（What do you want to be? / I want to be a ～.） 【アクティビティ】 ○「インフォメーションギャップゲーム」 ○「インタビューゲーム（+リアクション）」 【振り返り】【あいさつ】	◎就きたい職業について、尋ねたり答えたりしている。 〈行動観察・リフレクションカード分析〉 ◎友達の言っていることに対して、英語でリアクションをとっている。〈行動観察〉
4 （本時）	◆今までに習った英語を使って、自分のことを伝えることができる。 【あいさつ】【ウォームアップ】 ○単語復習（児童が苦手なもの5～6種類） ○会話練習（When is your birthday? / What fruit do you like? / What do you want? / What can you do? / What do you want to be?） 【めあて】【アクティビティ】 ○「インフォメーションギャップゲーム」 ○「インタビューゲーム」 【振り返り】【あいさつ】	◎積極的にコミュニケーションをとっている。〈行動観察・ワークシート分析・リフレクションカード分析〉

10 本時（全4時間の4時間目）

（1）本時の目標

今までに習った英語を使って、自分のことを伝えることができる

（2）準備物

- ・フラッシュカード ・インフォメーションギャップシート ・インタビューシート
- ・リフレクションカード

（3）表現・語彙

- ・ When is your birthday? / My birthday is～. ・ What food do you like? / I like～. ・ What do you want? / I want～. ・ What can you do? / I can～. ・ What do you want to be? / I want to be a～.

（4）本時の展開

時間	○児童の活動 △想定される児童のつまずき	☆指導上の留意点 ◎評価〈方法〉	・準備物
【挨拶】1分	○教師と全員で挨拶をする。		
【ウォームアップ】8分	○単語の復習をする。 ○ダイアログの復習をする。	☆児童が苦手な既習単語を選ぶ（※1のつまずきに対する手立て）。 ☆男女・号車・列などで指名し、多くの児童が発音できるようにする。	・フラッシュカード ・フラッシュカード
【めあての確認】1分	○めあてを確認する。 今までに習った英語を使って、自分のことを伝えることができる。	☆黒板にめあてを板書する。	
【アクティビティ】20分	○インフォメーションギャップゲームに取り組む。 ○インタビューゲームに取り組む。 △相手の言っている単語の意味が分からない（※1）。	☆指導者と児童で例を示す。 ◎積極的にコミュニケーションをとっているか。〈行動観察・ワークシート分析〉 ☆できる限り英語もしくは、英語をカタカナで書かせる。 ◎積極的にコミュニケーションをとっているか。〈行動観察・ワークシート分析〉	・インフォメーションギャップシート ・インタビューシート
【発表】7分	○自分のことについて発表する。	☆教師及び発表を聞いている児童が質問したことに答えさせる。 ◎今までに習った英語を使って、伝えることができているか。〈行動観察〉	
【振り返り】5分	○リフレクションカードを記入する。	☆これまでの学習を振り返っての感想も書かせる。	・リフレクションカード
【挨拶】1分	○教師と全員で挨拶をする。		

（5）授業観察の視点

- ①一度に扱う単語や表現を5～6種類に絞り込んだことは、児童が主体的に対話や学習に取り組むことができるための有効な手立てになったか。
- ②教師の指示や説明は、児童が十分に学習活動に十分取り組むことができる明確さと短さだったか。